

科学オリンピックへの道セミナー 参加者の声

- 自分よりすごい人が多くて、最初は、びっくりした。話すうちに、得られるものが多かった。
- いろいろな学校の人と触れ合えた。実験主体のため、本当に楽しかった。
- 中学生で自分より進んだ勉強をしている人がいたり、本格的な本をさまざま読み込んでいる人がいたり、周囲の積極的な姿に本当に刺激を受けた。
- 学校ではできないような実験ができてよかった。
- 3人で協力分担して実験することができた。どういう実験が必要かを考えているチームメイトがすごいと思った。
- レポートをみんなでいろいろ言いながら書くのが楽しかった。
- 剛体がすべっているのか回転しているのか、考えたことはなかったので新しい経験だった。
- 実験レポートを1から作成するということは、とてもいい経験になった。メンバーと意見交換をして工夫することができた。
- 波についてはくわしく分かっていないが、本格的な実験で分かりやすかった。
- 超音波の実験をした。残念ながら音は聞こえなかったが、ある程度のところまで実験が進み、ワクワクした。
- 交流会では勉強法や物理の小話なども聞くことができ、有意義な時間だった。
- 大学生は、やはり、高校生とは違う話ができると思った。
- だんだん物理への興味がわいてきた。来年も来たいという思いをもった。
- 「科学・物理好き、何に夢中になっているのだろう」では、科学をすることの楽しさ、重要性を学べた。
- 「科学は数学の言葉で書かれている」という言葉が印象に残った。面白そうな本をたくさん紹介されたので、本屋で手にとって見たい。
- 話の中で、江沢先生の本を読んだのがいいというのを聞いたので、家にもある「教室を飛び出せ物理」、「物理は自由だ」「現代物理学」の挑戦してみたい。
- 問題を解ける力と、探究活動をする力は少し違い、科学的というためには、実証性、再現性、客観性、が必要だということがわかった。
- 実験器具が万全にそろった環境でなくても、日常の中に物理を感じることもできた。
- 自分の成長を助けてくれるようなプログラムだった。
- 微分、積分の考え方を勉強したい。
- 高校の知識をもっていると分かることが増えた。自分が成長している。